

【資料 8】

デザイン監修まとめ (審議事項)

< 蓮池周辺 (北側) >

■青井阿蘇神社前 (市道) の整備イメージ

①自然石スツール (人吉石・照明付き) + 横断防止柵 (高さ 800mm) 案

・歩行安全性、快適性の視点

[舗装] 幅 300mm、長さ 300・500・800mm の 3 種の自然石をランダムに配置する
神社参道は金刀比羅宮 (～球磨川) まで連続する舗装で明示 (幅 400mm、長さ 800mm)

[バリアフリー] 段差をなくし、道路幅員全体をフラットにする

[照明] 自然石スツールに等間隔の照明を設置し、夜間の明るさを作り、歩きやすさを向上させる
灯籠型の照明も設置し、神社前の雰囲気演出する

[電気設備類] 電線地中化に伴う地上機器類は神社境内に配置し、道路上には設置しない

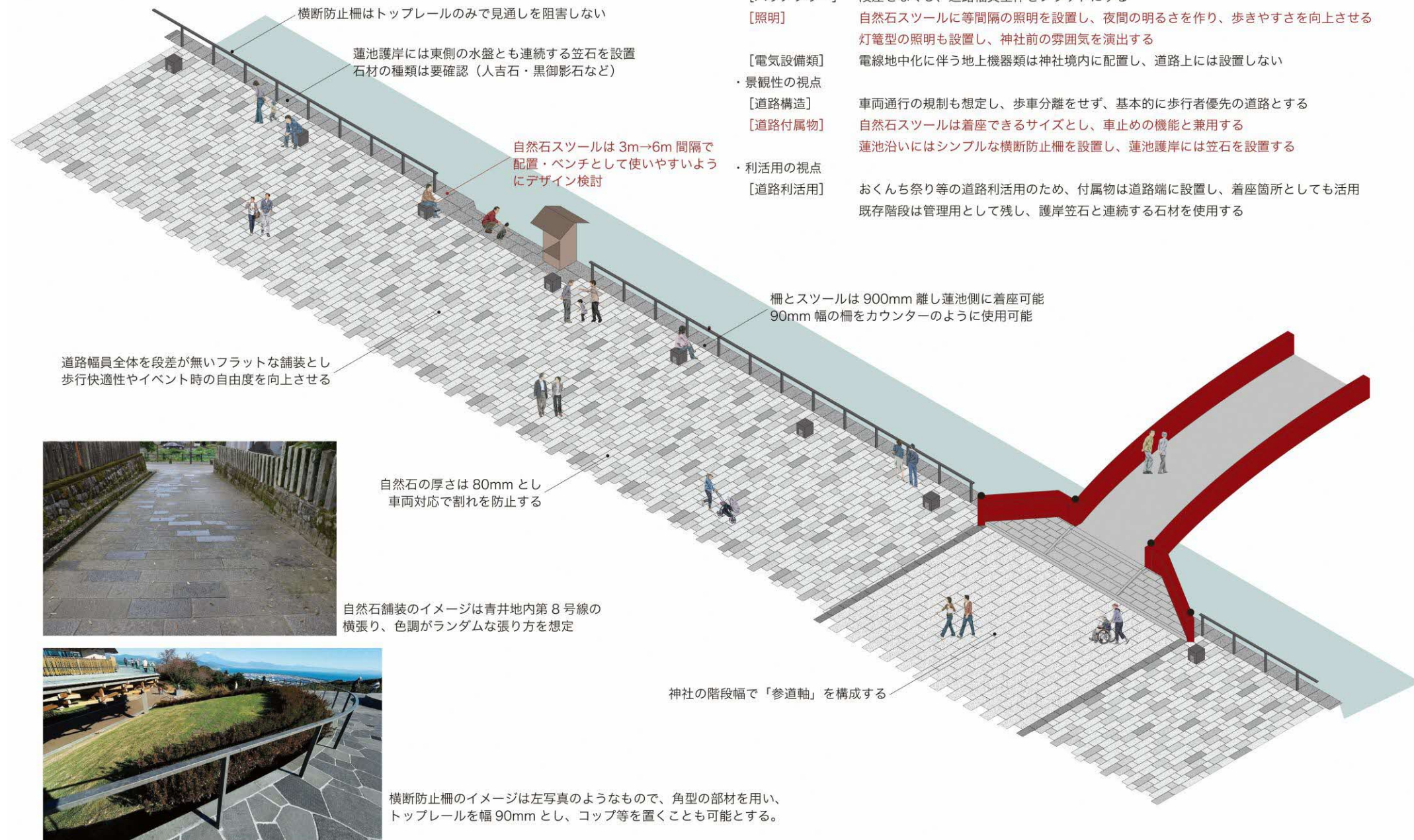
・景観性の視点

[道路構造] 車両通行の規制も想定し、歩車分離をせず、基本的に歩行者優先の道路とする

[道路付属物] 自然石スツールは着座できるサイズとし、車止めの機能と兼用する
蓮池沿いにはシンプルな横断防止柵を設置し、蓮池護岸には笠石を設置する

・利活用の視点

[道路利活用] おくunchi祭りの道路利活用のため、付属物は道路端に設置し、着座箇所としても活用
既存階段は管理用として残し、護岸笠石と連続する石材を使用する



横断防止柵はトップレールのみで見通しを阻害しない

蓮池護岸には東側の水盤とも連続する笠石を設置
石材の種類は要確認 (人吉石・黒御影石など)

自然石スツールは 3m→6m 間隔で
配置・ベンチとして使いやすいよう
にデザイン検討

柵とスツールは 900mm 離し蓮池側に着座可能
90mm 幅の柵をカウンターのように使用可能

道路幅員全体を段差が無いフラットな舗装とし
歩行快適性やイベント時の自由度を向上させる



自然石の厚さは 80mm とし
車両対応で割れを防止する

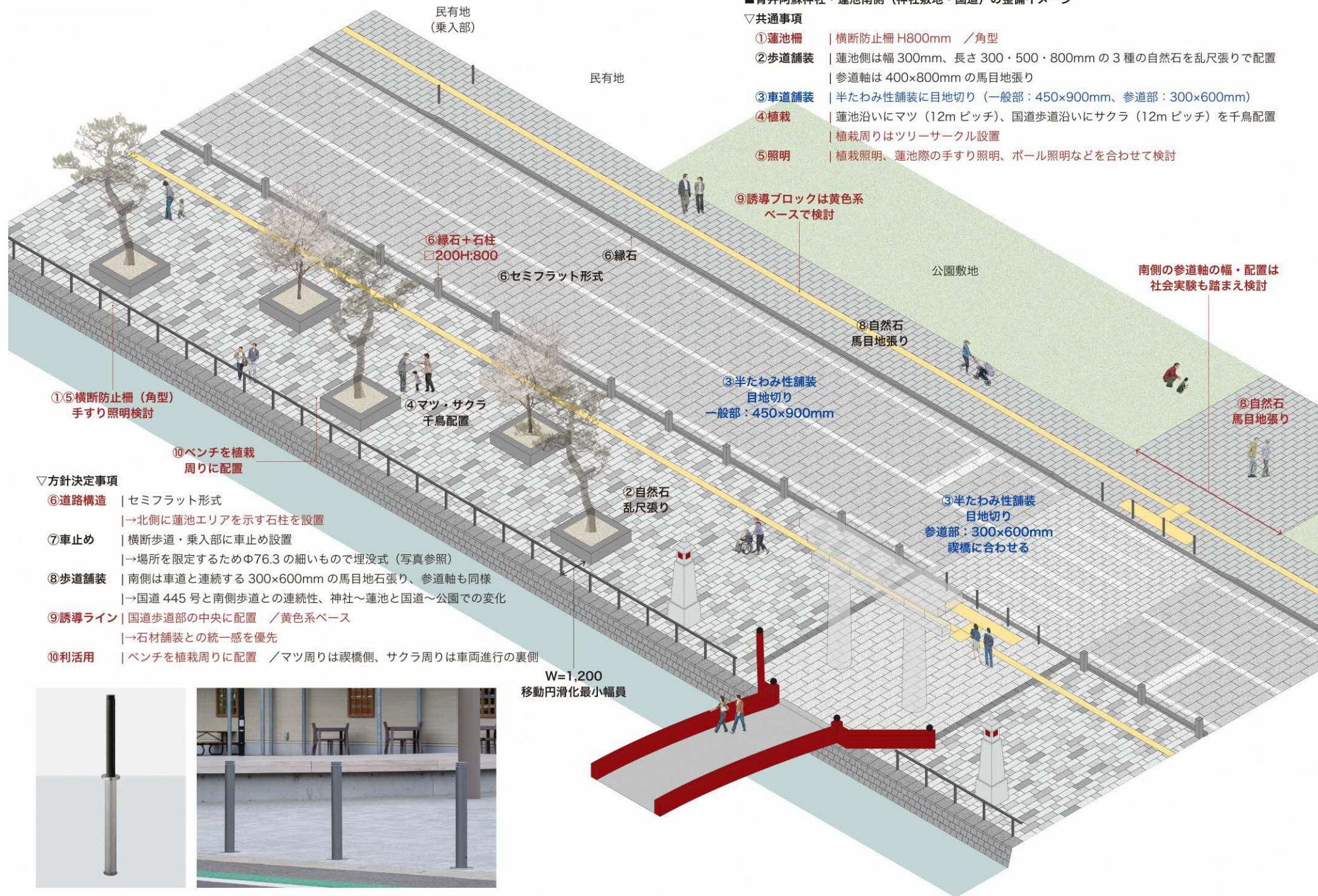
自然石舗装のイメージは青井地内第 8 号線の
横張り、色調がランダムな張り方を想定

神社の階段幅で「参道軸」を構成する



横断防止柵のイメージは左写真のようなもので、角型の部材を用い、
トップレールを幅 90mm とし、コップ等を置くことも可能とする。

< 蓮池周辺（南側） ・ 国道445号 >



■青井阿蘇神社・蓮池南側（神社敷地・国道）の整備イメージ

▽共通事項

- ①蓮池柵 | 横断防止柵 H800mm /角型
- ②歩道舗装 | 蓮池側は幅 300mm、長さ 300・500・800mm の3種の自然石を乱尺張りで配置
| 参道軸は 400×800mm の馬目地張り
- ③車道舗装 | 半たわみ性舗装に目地切り（一般部：450×900mm、参道部：300×600mm）
- ④植栽 | 蓮池沿いにマツ（12mピッチ）、国道歩道沿いにサクラ（12mピッチ）を千鳥配置
| 植栽周りはツリーサークル設置
- ⑤照明 | 植栽照明、蓮池際の手すり照明、ポール照明などを合わせて検討

⑨誘導ブロックは黄色系ベースで検討

南側の参道軸の幅・配置は社会実験も踏まえ検討

①⑤横断防止柵（角型）
手すり照明検討

⑩ベンチを植栽
周りに配置

▽方針決定事項

- ⑥道路構造 | セミフラット形式
|→北側に蓮池エリアを示す石柱を設置
- ⑦車止め | 横断歩道・乗入部に車止め設置
|→場所を限定するためφ76.3の細いもので埋没式（写真参照）
- ⑧歩道舗装 | 南側は車道と連続する 300×600mm の馬目地石張り、参道軸も同様
|→国道 445 号と南側歩道との連続性、神社～蓮池と国道～公園での変化
- ⑨誘導ライン | 国道歩道部の中央に配置 /黄色系ベース
|→石材舗装との統一感を優先
- ⑩利活用 | ベンチを植栽周りに配置 /マツ周りは視橋側、サクラ周りは車両進行の裏側

W=1,200
移動円滑化最小幅員

